

# 奄美大島・喜界島農業の動き

## ■令和7年6月

### 1 新規オペレータ確保に向け、さとうきびハーベスタ試乗会を開催！

6月8日、奄美市さとうきび振興対策協議会が、JA農機展示会に併せてハーベスタ試乗会を開催しました。当協議会は、市や県、JA、製糖事業者で構成され、今回の試乗会は、将来的なハーベスタオペレータの確保を目的に開催されました。当日は大人7名、子供6名が体験し、ハーベスタ組織役員から機械の操作方法について説明を受けました。試乗者からは「実際にさとうきびほ場で刈取したい」との意見がありました。今後、8月上旬の夏植え用の採苗時に、ほ場での刈取研修会を計画しています。



ハーベスタの動かし方について説明する様子

### 2 喜界町生産牛農家に向けた経営分析結果の共有

6月10日、喜界町役場で喜界町和牛改良組合総会が開催されました。会の中で、農政普及課からは、喜界町肉用牛農家約30件分の経営分析で得られた現状や母牛一頭当たりの飼料費年次推移等について報告し、生産者及び関係機関と共有しました。また、今後、戸別ヒアリング等を通じて、生産者ごとに飼料費が異なる要因をさらに分析し、モデル事例を整理することで、農家の経営改善につなげていく取組について、生産者及び関係機関の理解を得ることができました。



喜界町和牛改良組合総会にて分析結果を共有する様子

### 3 喜界町川嶺集落で農地集積に向けたアンケートを実施

6月11日、地域計画の重点地区の川嶺集落で、農地に関するアンケートを実施しました。川嶺集落は、農家10戸でさとうきび65haを栽培し、うち2戸は20ha以上の大規模農家になります。アンケートでは、今後の営農について意向を確認し、2戸は川嶺集落での規模拡大を希望し、離農・規模縮小意向の3戸は川嶺集落の農家に委譲したいとの結果となりました。規模拡大志向農家と農地を縮小する農家の意向が一致したことから、今後、農地のあり方についての検討会を実施する計画です。

### 4 令和7年度新規就農者励ましの会を開催！

6月17日、アマホームPLAZAで新規就農者励ましの会が開催され、パッションフルーツ等の果樹や野菜、さとうきびを生産する新規就農者7名が、将来の抱負を熱く語りました。大和村長や大島支庁長、指導農業士会長からは、「高収益化を図るため付加価値を高めて」「楽しみながら地域農業を牽引して」「悩みがある時は我々を頼って」等のエールが贈られました。今後、農政普及課では関係機関・団体と連携し、農業基礎講座や研修会を通じた新規就農者の定着支援を行っていきます。



先輩農業者・関係機関から激励を受けた  
新規就農者7名（前列）